

エコフォーム II

非PFOS

- ・エコフォームIIは、環境に配慮した消防訓練用起泡剤です。
- ・放射した泡は、土壌吸着されるため、地下水への浸透の心配はありません。
土壌中では、1日たつと90%以上が土壌菌にて分解されるため、環境への影響がありません。
- ・下水道法に抵触する成分は一切入っておりませんので安心してお使いいただけます。
*使用濃度3%以下。ただし、都道府県条例などにより上乗せ基準を設けている場合がありますので、ご確認ください。
- ・水域へ飛散しても魚に対する毒性が低いので安心です。
- ・圧縮空気を使用するCAFSの訓練にも使用できます。

特長

1. 定められた使用濃度（3%）で生成させた泡は、実際の泡消火薬剤と変わらない発泡倍率（当社比）を発揮します。
2. 形成された泡は消え易く、後処理が簡単のように配慮されております。
3. 生分解性に優れ、いつまでも環境に存在することが無く、将来、害を及ぼさないように配慮してあります。
4. 環境ホルモン、重金属やPFOSなどの有害物質は一切含まれておりません。
5. 皮膚刺激性が殆ど無く、環境や生物に優しい起泡剤です。
6. 淡水・海水または硬水に対して有効にご使用になれます。

《化粧品原料に使用される界面活性剤を使用する極めて安全性の高い起泡剤で安心してご使用頂けます。》

性状（実測値の一例）

試験項目	エコフォームII	
外観	淡黄色透明液体	
比重 (20℃)	1.01	
水素イオン濃度(pH値) (20℃)	7.6	
凍結温度	-1	
	高発泡	低発泡
発泡倍率 (倍)	500以上	8~12
25%還元時間 (分:秒)	1:10	1:50

「泡消火薬剤の技術上の規格を定める省令に基づく。（自治省令第26号：昭和50年12月9日）」

『エコフォームIIによる泡放射訓練状況』



⇒

15分後



消防訓練用起泡剤

エコフォーム II

『環境ホルモン、重金属やPFOSなどの有害物質を一切含みません』

使用濃度（3%希釈水）による有害物質の分析 下水道法に関する排出基準と測定結果（単位：mg/l）

計量の対象	計量の結果	基準値	計量の対象	計量の結果	基準値
カドミウム及びその化合物	0.01未満	0.03	シマジン	0.003未満	0.03
シアン化合物	0.1未満	1	チオベンカルブ	0.02未満	0.2
有機燐化合物	0.1未満	1	ベンゼン	0.01未満	0.1
鉛及びその化合物	0.01未満	0.1	セレン及びその化合物	0.01未満	0.1
六価クロム化合物	0.05未満	0.5	水素イオン濃度（pH/25℃）	7.2	5~9
砒素及びその化合物	0.01未満	0.1	生物化学的酸素要求量（BOD）	484	600
水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物	0.0005未満	0.005	浮遊物質（SS）	5未満	600
アルキル水銀化合物	不検出	検出されないこと	沃素消費量	5未満	220
ポリ塩化ビフェニル	0.001未満	0.003	ノルマルヘキサン抽出物質含有量（鉱油類含有量）	2.5未満	5
トリクロロエチレン	0.03未満	0.3	ノルマルヘキサン抽出物質含有量（動植物油類含有量）	26.6	30
テトラクロロエチレン	0.01未満	0.1	フェノール類含有量	0.1未満	5
ジクロロメタン	0.02未満	0.2	銅含有量	0.1未満	3
四塩化炭素	0.002未満	0.02	亜鉛含有量	0.1未満	2
1,2-ジクロロエタン	0.004未満	0.04	溶解性鉄含有量	1未満	10
1,1-ジクロロエチレン	0.02未満	1	溶解性マンガン含有量	1未満	10
シス-1,2-ジクロロエチレン	0.04未満	0.4	クロム含有量	0.05未満	2
1,1,1-トリクロロエタン	0.3未満	3	窒素含有量	35	240
1,1,2-トリクロロエタン	0.006未満	0.06	炭含有量	0.1未満	32
1,3-ジクロロプロペン	0.002未満	0.02	ほう素及びその化合物	1.0未満	10
チウラム	0.006未満	0.06	ふっ素及びその化合物	2.0未満	8
ダイオキシン類	0.00040pg-TEQ/l	10pg-TEQ/l	アンモニア・亜硝酸・硝酸等	0.1未満	380
水質汚濁防止法排水基準、水質汚濁に係る環境基準（地下水環境基準・人の健康の保護に関する環境基準）追加試験項目					
PCB	不検出	検出されないこと	大腸菌群数	30個/cm ³ 未満	3000個/cm ³
1,4-ジオキサン	0.02未満	0.05	塩化ビニルモノマー	0.0002未満	0.002
フッ素	0.08未満	0.8	1,2-ジクロロエチレン	0.004未満	0.04
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	0.1未満	10			

分析方法：下水道法施行令（昭和34年政令第147号）、水質汚濁防止法排出基準（昭和46年総理府令第35号）、地下水環境基準（平成9年環境庁告示第10号）、人の健康の保護に関する環境基準（昭和46年環境庁告示第59号）

「不検出」とは、その結果が当該計量方法の定量限界を下回ることをいう。（定量下限値：アルキル水銀化合物 0.0005mg/l、PCB0.0005mg/l）

その他環境及び安全に対する試験

生分解性試験	魚毒性試験（ヒメダカ）
90%以上（24時間）	96時間後 LC50 10,000mg/l

土壌溶出試験（BOD）
0.0mg/l

*土壌溶出試験は土壌に対して膨張率8倍の気泡を20%添加したのち、水で溶出させて泡を加えていない場合との差を言います。

取扱い上の注意事項

1. 高温環境下では薬剤の劣化が促進されます。-1℃~+30℃で貯蔵してください。
2. 泡消火薬剤ではありませんので、実際の火災には使用しないでください。
3. 他の泡消火薬剤との混合はしないでください。
4. 貯蔵の際は水および異物の混合はしないでください。
5. 皮膚に付着した時、目に入った時は水で洗い流してください。

容器

1. 20L ポリエチレン缶（JIS Z 1706 相当品）
2. 200L ポリエチレン製容器内装鋼製ドラム缶（JIS Z 1601）

●お求め、お問い合わせは

DKS Since 1957
の泡消火薬剤

DKS 第一化成産業株式会社

<http://www.d-kasei.co.jp>

川越工場：〒350-1165 埼玉県川越市南台1丁目6番地4

エアーフォーム事業部 営業部

TEL 049 (242) 7785 FAX 049 (244) 2934

（本カタログの内容はお断りなく変更する場合がありますので、ご了承下さい。）